

(行政視察・政務活動・議員研修) 報告書

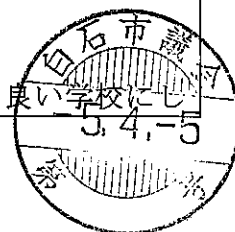
令和 5年 4月 5日

白石市議会議長 小川 正 人 殿

議員氏名 小川 正人

下記のとおり行いましたので報告いたします。

期 間	令和 5年 3月22日(水)～ 3月23日(木)
調査・研修先	衆議院・第二議員会館 会議室
調査事項 (研修事項)	1 文部科学省 不登校特例校について他 2 国土交通省 白石市内国道4号拡幅について他
対応者・講師等	1 文部科学省 総合教育政策局 ①男女共同参画共生社会学習・安全課 課長補佐 講師：時枝 正和 氏 文部科学省 初等中等教育局 ②児童生徒課 生徒指導室 課長補佐 講師：大野 照子 氏 ③児童生徒課 生徒指導室 生徒指導調査分析係 講師：松田 明子 氏 ④児童生徒課 生徒指導室 生徒指導第一係 講師：岡本 真穂 氏 2 ①国土交通省 道路局 企画課 道路経済調査室 課長補佐 講師：野村 文彦 氏 ②国土交通省 道路局 企画課 道路経済調査室 調査第三係 講師：北側 健 氏
概 要 ① 背景・目的 ② 内容・特色 ③ 主な質疑 ④ 考察 (感想、課題、 政策提言等)	1 不登校特例校について <説明内容> ・全国における不登校の子どもの現状を確認したところ、年々増加傾向にあるとの事。 ・そのようなときに、白石市が特例校を開校したことは、素晴らしい事だと評価された。 ・また、今後の課題としては、教員の確保が必要であるとの事であった。 ・白石市立の学校として、小中一貫校を運営するには、財政的にも大変なので、支援をお願いしたところ、もちろん補助制度を利用して支援を行うが、将来的には、近隣の子ども達も受け入れ、子どもの所在地の自治体より負担金をいただくことも一つの方法ではないかとアドバイスを受けた。 <その他> ・時枝課長補佐は、宮城県の教育関係部署の課長をやっておられたとの事で、白石市の教育行政も熟知しておられ、良い評価をしておられた。 ・小中一貫の不登校特例校は、全国で3例目、東北では初めてなので、認めていただいたことに謝意を述べた。 <まとめ> ・先例が少ないので、教育委員会と英知を出し合いながら、良い学校にし



ていきたい。

- ・また、アドバイスをいただいた近隣自治体の子ども達の受け入れも検討しても良いのではないかと思われる。
- ・財政面でも、補助制度を活用すべきと考える。

2 白石市内国道4号拡幅について

<説明内容>

※第1回東北地方小委員会資料をもとに説明を受ける。

・白石市内大平地区より斎川地区までの3kmの4車線化に向けて、第1回東北地方小委員会が開催された旨説明を受け、事業化に向けては、今後、意見聴取（2回）、東北地方小委員会（2回）の計4回の会議を行い、事業化を決定するとの事。

・意見聴取（2回）、今後の東北地方小委員会（2回）についても、第1回東北地方小委員会資料をもとに説明を受けた。

・第1回東北地方小委員会の資料において、4車線化の必要性と、その効果が記載されており、感心と同時に安心した。この内容であれば、事業化は決定されるであろうと確信が持てた。

・小委員会の資料を作成するにあたっては、白石市も的確な資料を作成し提出したことがうかがえるものであった。

・日程についてうかがったところ、現時点ではまだ示すことができないとの事であった。

・一日も早い事業決定、着工、完成が白石市民の願いであると、強くお願いをした。

・なお、仮称白石スマートIC事業化に際し、全ての白石市民が喜んでいる事を伝え、謝意を述べると共に、斎川以南の国道4号4車線化の検討を進めていただくようお願いした。

・最後に、国土交通省東北整備局の皆様にも、大変お世話になっている事に対し、感謝の意を伝えた。

<まとめ>

・白石市の国道4号4車線化が南へさらに進んだことに安心した。

・これも、我々の研修の成果と自負したい。

・これからは、越河まで事業化が決定するよう、資料をそろえて国土交通省へ研修や要望活動を行うことが大事だと思うので、継続していきたい。